

シンガポールは赤道の近辺に位置する淡路島程度の大きさの国である。1819年にイギリスに植民地化され、東西貿易の拠点となり、大量の移民が流入し、都市化が進んだ。独立後は、人口も増加の一途をたどり、現在は国民約320万人に、海外からの駐在等居住者を加えた約400万人が住む都市国家となっている。

チャンギ国際空港からバスで都心に向かう途中で、たくさん的高層マンション群を見ることができる。このような高層マンションは住宅政策をになう国営のもので、殆どの人々がこのマンションに住んでいる。

街中でパリの地下鉄入口のギマール計画案を連想させるような形状の庇を見つけ、新鮮に思えた。

規模的に14階建てが主流だが最近では高密度化が進み20階建て以上のもも出てきている。国の機関で行なっているためスカイラインの形成に関しては各々装飾や夜間のライトアップ等主張をするようなデザインが施されている。

また、景観に関するガイドラインを策定し、街路の緑化及びボート・キー地区のように建物の形態制限に力を入れている。

